学校番号	２１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十五訂版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史を学んでいく中で、国家の関係性や地政を理解することで、現代社会における諸問題の理解にもつながる。この１年で興味関心の向上をはかりたい。

世界各地域にはその数だけ歴史があり、人々の考え方，文化の違いについて理解を深めることで，グローバル社会を生きるための土台を築き，国際社会のなかで物事を相対的に見つめることができるような広い視野を培ってもらいたい。

世界各地の事柄を学ぶことによって，他国の人々の考え方，文化について理解を深め，世界各国の人々との交友を深めていく人になって欲しい。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や環境要因等と関連付けながら理解し、知識を身につける。（知識及び技能）
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察できるようになる。（思考力・判断力・表現力）
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につける。（学びに向かう力、人間性）

評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や環境要因等と包括的に関連付けながら理解し，その知識を身につけている。諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。世界中で積み重ねられてきた歴史の流れを地図を利用して地理的な観点から判断している。	世界の歴史から課題を見いだし，過去から現代までに継続的に培われてきた文化の多様性・複合性やグローバル世界の特質を多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に考察している。	歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国家・社会を形成する日本国民として、またグローバル化する世界のなかで国際人として主体的に生きる責務を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　文明の成立と古代文明の特質	・西アジア世界の地理的特質を把握し，オリエント文明の盛衰を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。 ・東アジア世界の地理的特質を把握し，中国文明の形成から秦・漢帝国の成立について理解する。 ・南アジア世界の地理的特質を把握し，独自のインド文明が成立，発展したことを理解する。 ・南北アメリカ世界の地理的特質を把握し，先住民文化の特色を理解する。	a:都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。大河流域で灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。それぞれの地域の風土に適した生活が古くから営まれていたことを理解している。 b:文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。 c:古代地域や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	レポート

	第2章　中央ユーラシアと東アジア世界　第3章　南アジア世界と東南アジア世界の展	・強大な遊牧国家の成立から遊牧騎馬民族の動向を，中国の諸王朝と関連して理解する。 ・魏晋南北朝時代の分裂時代をへて隋唐帝国の成立が，遊牧民や漢人など多様な人々を統治する胡漢融合国家であったことを理解する。 ・唐帝国の影響を受け，朝鮮半島や日本列島で独自の国家形成が進んだことを理解する。 ・東南アジア世界の地理的特質を把握し，海と結びついた独自の文化を理解する。	a:遊牧民やオアシス民の生活の有様や、周辺の諸勢力との関係を理解している。古代中国の国家の支配体制や制度について時期ごとの変化を踏まえたうえで理解している。 b:　中国国家の興亡に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。 c:中国および中央ユーラシアの歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	レポート

2学期	第4章　西アジア世界と地中海周辺の国家形成	・イラン地域での断続的な諸国家の興亡が起こり、中央集権的な支配がはじまったことを理解する。 ・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ・ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れたことで新たに生まれたヘレニズム時代の歴史的意義を理解する。 ・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで理解する。 ・キリスト教成立の経緯およびローマ帝国によるキリスト教への対応を理解する。	a:アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特質があるのかを理解している。ローマがどのような経緯で都市国家から帝国に至ったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b:　ヨーロッパ諸国家の基礎に当たる古代ギリシア・ローマに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。 c:西ヨーロッパの歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	レポート

	第5章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成　第6章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・イスラームの誕生から大帝国に発展したイスラームの特質とアラブ人の活動を理解する。 ・トルコ系諸民族によるイスラームの拡大や，インド・アフリカでのイスラーム化の過程を理解する。 ・ムスリム商人の活動が，イスラーム諸都市を結ぶ国際商業ネットワークをつくりあげたことを理解する。 ・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について理解する。 ・ヨーロッパ世界の地理的特質を把握し，フランク王国の形成やヴァイキングの活動を理解する	a:イスラーム教がどのように成立し、勢力を拡大していったのかを理解している。西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形作っていったのかを理解している。 b:世界三大宗教のうちの二つキリスト教とイスラーム教の世界が出来上がる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。 c:キリスト世界とイスラーム世界の始まりの歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	レポート

3学期	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	・ビザンツ帝国の盛衰と，ギリシア正教圏の拡大を理解する。 ・封建社会の成立から十字軍前後のラテン=カトリック圏の動向を理解する。 ・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つに至った経緯を理解する。 ・西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を理解する。	a:封建社会の衰退と教皇権の衰退も過程および中央集権化に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較を踏まえたうえで理解している。 b:中央集権へと動き出す前段階の中世西ヨーロッパにおける諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。 c:中世ヨーロッパ世界の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度